

令和4年度 事業報告書

社会福祉法人広島平和養老館

〒734-0017 広島市南区似島町字東大谷3073-5

TEL 082-259-2709

FAX 082-259-2286

目次

法人本部	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
特別養護老人ホーム広島平和養老館	・・・・・・・・・・・・・・・・	3
デイサービスセンターにのしま	・・・・・・・・・・・・・・・・	7
広島平和養老館居宅介護支援事業所	・・・・・・・・・・・・・・・・	9
養護老人ホーム広島平和養老館	・・・・・・・・・・・・・・・・	11

I. 法人本部

1. 役員会等開催状況

(定時評議員会)

開催年月日	出席数	議 題
令和4年 6月24日	評議員 8名 監事2名 理事4名	(報告事項) 新評議員紹介 令和3年度事業報告について (決議事項) 1 令和3年度広島平和養老館計算書類及び財産目録の承認について

(理事会)

開催年月日	出席数	議 題
令和4年 6月2日	理事6名 監事2名	(決議事項) 1 令和3年度広島平和養老館事業報告案について 2 令和3年度広島平和養老館決算報告案並びに監事監査報告について 3 令和4年度定時評議員会の開催案について (報告事項・その他) 理事長職務執行状況報告 運転資金借入金承認のための補正予算審議予定について
令和4年6月 24日	理事6名 監事2名	(決議事項) 1 令和4年度社会福祉法人広島平和養老館補正予算案について
令和5年 3月30日	理事6名 監事2名	1 令和4年度社会福祉法人広島平和養老館補正予算案について 2 令和5年度広島平和養老館事業計画案について 3 令和5年度社会福祉法人広島平和養老館当初予算案について 4 評議員選任解任委員会の開催並びに推薦する評議員候補者1名について

(監事監査)

日時 : 令和4年5月23日(木) 11:30～
会場 : 広島平和養老館事務室
実施者 : 新野監事、山根監事

2. 主な職員の研修状況(施設内研修)

(1) 身体拘束に関する研修(虐待防止研修含む)

日時: 令和4年6月1～10日(特養/養護/デイ/居宅)

令和5年3月6～10日(集合研修)

(2) 介護事故防止に関する研修(食中毒・感染症)

日時: 令和4年6月1～10日(特養/養護/デイ/居宅)

令和5年3月6～10日(集合研修)

(3) 感染症に関する研修(食中毒・感染症)

日時: 令和4年6月10～30日(特養/養護/デイ/居宅・食中毒/感染症)

令和5年2月14日～2月27日(特養/養護/デイ/居宅・コロナウイルス感染症対策)

3. 職員会議開催状況

開催年月日	議 題
令和4年4月5日	1 行事予定について 2 R3年度事業計画について 3 感染症対策について 4 就業規則等の変更について 5 処遇改善一時金について
令和4年6月7日	1 行事予定について 2 新型コロナウイルス感染症対策について 3 夏季賞与・処遇改善一時金について 4 その他(職員の補充について)
令和4年8月9日	1 行事予定について 2 新型コロナウイルス感染症対策について 3 土砂災害に関する避難訓練について 4 職員の補充について
令和4年10月10日	1 行事予定について 2 新型コロナウイルス感染症対策について 3 避難訓練について 4 R4年度施設指導監査について
令和4年12月22日	1 行事予定について 2 新型コロナウイルス感染症対策について 3 避難訓練について 4 職員・利用者の行動について 5 時間外・休日労働に関する協定書(36協定)について 6 R4年度施設指導監査について
令和4年2月12日	1 感染症対策について(1) 2 新型コロナウイルス感染症対策について(インフルエンザ等) 3 避難訓練について 4 施設内研修について 4 各部署修繕について

II. 特別養護老人ホーム

平成12年に発足した介護保険制度は、制度改正による介護報酬の切り下げにより、経営収支が年々悪化していきましたが、今年度以降は介護職の不足により、入所者の受け入れに一定の制限をせざるを得ない状態が続いたため、きびしい収支決算となりました。

1. 入居者の状況について(令和5年3月31日現在)

- ① 定員 30名 ② 実人員 16名
③ 年齢別状況

	～69歳	70歳～79歳	80歳～89歳	90歳～99歳	100歳～	合計
男性	0	0	3	1	0	4
女性	0	3	5	2	0	10
計	0	3	8	3	0	14

④ 要介護の状況

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男性	0	1	2	1	0	4
女性	0	1	2	4	3	10
合計	0	2	4	5	3	14
	0.0%	14.0%	29.0%	36.0%	21.0%	100.0%

⑤ 月別入院状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人員	1名	0名	1名	2名	1名	0名	0名	1名	1名	1名	3名	2名	13名
延べ日数	11日	0名	1日	26日	16日	0名	0名	16日	31日	31日	44日	60日	236日

2. サービスの主な内容(給食について)

- ① 管理栄養士が中心となって、バランスの取れた献立を作成しました。
- ② 冷たい物は冷たく、温かい物は温かく、適温食を提供しました。
- ③ 食堂前に1週間の献立を提示し、関心を持ってもらえるようにしました。
- ④ より良い献立を作成するにあたり、アンケート調査を実施しました。
- ⑤ 持病を持った人に対しては、特別食を提供しました。
- ⑥ 楽しい食事となるよう、オムライスの日、カレーの日、お好み焼きの日を設定しました。
- ⑦ 一日当たりのエネルギー1,400キロカロリー、一日当たりの食費820円。
- ⑧ 非常事態に備え、災害非常食を3日分以上常備しました。

3. 入浴について

- ① 清潔を配慮をし、足先まで丁寧にケアしました。
- ② 浴室の温度や湯温に注意し快適に心身ともにリラックスしてもらえるよう努めました。
- ③ 一般浴・機械浴とも風呂場を清潔に保ち、障害物等ないかを確認し、安全面に配慮しました。

4. 排泄について

- ① 居室でのポータブルトイレの使用時やトイレ介助にはプライベートカーテンを使用し、プライバシーの配慮を心がけました。
- ② 利用者の自立度に応じ排泄用具の選定し、動作時の安全性を確保し、本人の自尊心を傷つけることのないよう対応を心がけました。

5. 機能訓練について

- ① 残存機能を維持するためケアプランの中に機能訓練の計画を盛り込みました。
- ② ベッド上での時間が長い方には、できるだけリラックスしていただけるよう介助の工夫しました。

6. 健康管理について

- ① 嘱託医・看護師・介護職の連携により、健康管理に努力しました。
- ② 毎月、体重測定を実施し、健康面、栄養面の個別のチェックを行いました。
- ③ インフルエンザ対策として、入居者及び職員にワクチンの投与を1回行いました。
結果、インフルエンザ感染者は職員利用者とも0名でした。
- ④ 前年度末より新型コロナウイルスの発症が全国的に見られました。当初は未知のウイルスとのこともあり、対応するために研修に参加し、各職員に徹底周知を図るとともに、利用者にも極力不要不急の外出を控えてもらうなど、協力をいただきながら、結果年度末日現在において発症者はいませんでした。
- ⑤ 感染症のリスクを軽減するための必要な知識、対応・防止のため、感染症対策委員会を年4回開催しました。

7. 災害対策について

- ① 消防設備、避難器具の点検を行いました。
- ② 非常時災害訓練を年3回、土砂災害想定訓練を1回実施しました。

8. 家族・交流について

- ① 家族との連絡を密に取り合いました。
- ② 施設だよりを年2回発行し、情報の共有に努めました。
- ③ 新型コロナウイルス予防の対策により、今年度はボランティア介護体験実習生の受け入れができませんでした。（例年：似島中・似島学園等）

9. レクリエーション活動について

- ① 「生きがい対策」として、書道クラブを年5回・体操クラブを年12回に加え、各行事の企画や地域行事に開催・参加ができきない代替としてぬりえクラブを実施しました

10. 人材育成について

- ① 令和5年3月31日現在、看護師4名、ケアマネ1名、介護福祉士4名、ヘルパー2級(初任者研修含む)4名を配置しています。
介護技術の向上・支援員の知識向上が求められていることから、次年度初任者研修取得に向け取り組みをはじめました。

② 施設内外での研修がコロナの緊急事態宣言等により開催が限られましたが、リモート研修に参加し、内容を施設内研修にて報告し資質向上に努めました。

1 1. 施設利用者の虐待防止について

特養でも、28年度に、入所者に対する虐待行為があったとの通報が広島市からあり、施設としても重要課題と位置づけています。

今後虐待0の施設にしていくために、虐待防止委員会・身体拘束廃止委員会を各年6回開催し、職員の介護技術だけでなく、意識の向上を目的に、具体的な事例検討を話し合い、精査していきました。

1 2. 介護事故予防に向けた取り組みについて

利用者の介護時、見守り中の転倒等の事例検討や現在のリスクについて、介護事故予防委員会を年6回開催し、年2回の事故の予防に関するに努めました。

1 3. 新型コロナウイルスに対する取り組みについて

令和1年度の後半から新型コロナウイルスが発生し流行し、令和3年度はまん延防止措置が発令されるなど流行が続いております。当初は情報も少なく手探りの状態の中、職員は感染症対策のため毎日の検温と業務中に限らず業務外でも手指の消毒の徹底に取り組み、密を避けるための行動をとり、今年度も引き続き厳戒態勢の中、防止に取り組みました。

ご家族との面会もお断りすることが多く、玄関のガラス越しや2F非常口の窓越しで面会をするケースもありました。

職員はワクチンを全職員が追加接種しました。また自宅で家族からの感染により2名の感染が見られましたが、速やかに自宅待機等対応し、感染の拡がりをしていないことを確認しました。もはやコロナウイルスは身近にあるものと認識し、基本的対策を徹底し、利用者においては感染はなく、最小限度に抑制することができました。

Ⅲ. デイサービスセンターにのしま

介護保険法の改正により、要支援1、2の方が利用する介護予防サービスが総合事業に移行しました。1日型デイサービスでは「広島市介護予防・日常生活支援総合事業の指定業者の基準に関する要綱」の内容を遵守し、実施しました。

事業の実施にあたっては、関係市町村、地域包括センター、居宅介護支援事業者、地域の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めました。

利用者やその家族のニーズにきめ細かく柔軟に対応し、利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ったサービスを提供できるよう努力しました。

1. 利用者の実績

	令和4年度	
地域密着型通所介護	1400	名
1日型デイサービス	511	名
合計	1,911	名

2. サービスの内容について

① 生活指導

利用者からの生活に関する相談に対し、助言や情報提供を行ってきました。

② 機能訓練

利用者の残存機能・能力を把握したうえ、レクリエーション・リハビリを行う中で楽しみながらADLの維持・向上をはかってきました。

③ 介護サービス

利用者個人別の身体及び健康状態、又その時の場面に応じたサービスを提供してきました。

④ 介護方法の指導

利用者本人やその家族に対して、介護に関する情報を提供し、身体的・心理的援助を行ってきました。

⑤ 送迎

シートベルトの着用をはじめ安全最優先の移動に心掛けてきました。

3. 通所サービスの実施日

(1) 実施日

月曜日～土曜日 週6日

(但し、国民の祝日に関する法律に規定する休日、年末年始を除く)

年間開所日数 281日

年間利用人員 26人

(2) 実施時間

午前9時～午後3時15分 (但し、送迎に要する時間を除く)

(3) 利用人員

1日当たりの利用人員 10人

4. 通所サービスへの対応

生活の自立を促すために平成18年4月から始まった介護予防サービスは、別表にあるように要支援1・要支援2の認定を受けた方は、予防する目的で、筋力トレーニングなどで、体の衰えを防止するサービスです。

要支援1・2の方は食事などの基本サービスのほか、その人の目標に合わせた選択サービス（運動機能向上、栄養改善、口腔機能の向上）や自立した生活を営む為のサービス（生活向上グループ活動）が利用できます。

要介護1～5の方は入浴、排泄、食事等の日常生活のお世話や機能訓練を受けるサービスです。

5. 新型コロナウイルス感染症に対する取り組みについて

令和1年度の後半から新型コロナウイルスが発生以来、令和4年度も収縮することなく流行が続いております。特にデイサービスは在宅の利用者であり、外部との接触も多く、また盆正月等の行事には遠くからの家族が集まることも考えられました。

そこで、利用者と緊密に連絡を取り、状況や家族の帰省等の情報を共有し、体調管理等を行いました。また日々の通所に関しては送迎時から体調の確認、マスクの着用や通所前の検温並びに手指の消毒を徹底し予防対策を行いました。

6. 行事について

年間行事【令和4年度デイサービス行事について】

月	実施日	内 容	参加人数	特記事項
9	12日～17日	敬老会	25 名	
12	19日～24日	クリスマス会	23 名	

IV. 広島平和養老館居宅介護支援事業所

1. 令和4年度行事・研修・勉強会

- ◎ 研修会、勉強会に継続的に参加することにより、必要な知識、技能の習得をし、介護支援専門員としての資質の向上を図りました。

	行事・研修・勉強会等
6月	身体拘束・高齢者虐待防止に関する施設内研修
	介護事故防止に関する施設内研修
	感染症・食中毒に関する施設内研修
9月	令和4年度居宅サービス計画作成演習
	情報公表資料提出
	90%集中減算記録整理（令和4年前期）
	宇品・似島圏居宅介護支援事業所交流会
11月	冬場の事故予防対策注意喚起
2月	令和4年度広島市認定調査員現任研修
	感染症に関する施設内研修
3月	90%集中減算記録整理（令和4年後期）
	居宅介護支援事業者研修会
	令和4年度広島市介護事業者集団指導研修
	「適切なケアマネジメント手法」研修
	感染症・食中毒に関する施設内研修
	介護事故防止に関する施設内研修

2. 新型コロナウイルスに対する取り組みについて

昨今の新型コロナウイルスの流行が引き続き予断を許さない状況になっております。居宅サービスは在宅の利用者であり、外部との接触も多く、また盆正月等の行事には遠方からのご家族が集まることも考えられました。

そこで、利用者と緊密に連絡を取り、状況や家族の帰省等の情報を共有し、体調管理等を行いました。訪問の際には体調の確認、マスクの着用や通所前の検温並びに手指の消毒を徹底し予防対策の周知をおこないました。

2. 令和4年度居宅サービス計画の総数

	計画数（要介護）	計画数（介護予防）	計画数（総合）	計
4月	23	15	5	43
5月	23	16	5	44
6月	22	15	6	43
7月	23	15	5	43
8月	22	15	5	42
9月	22	14	5	41
10月	23	14	5	42
11月	23	14	5	42
12月	21	15	4	40
1月	21	15	3	39
2月	21	15	3	39
3月	22	15	3	40
合計	266	178	54	498

※介護予防は、広島市宇品・似島地域包括支援センターの委託による。

V. 養護老人ホーム

養護老人ホームは、昭和40年開設以来、安定した運営を展開してきましたが、今年度は定員割れが続き、十分な収益をあげることができませんでした。

1. 入居者の状況について(令和5年3月31日現在)

① 定員 50名(ショート2名) ② 実人員 40名(ショート0名)

③ 年齢別状況

	～69歳	70歳～79歳	80歳～89歳	90歳～99歳	100歳～	合計
男性	1名	11名	8名	0名	0名	20名
女性	0名	4名	5名	10名	0名	19名
計	1名	15名	13名	10名	0名	39名

※ 入居者平均年齢82.9ヶ月 ※ 最高年齢97.1ヶ月 最小年齢66.11ヶ月

④ 要介護度の状況

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男性	1名	3名	1名	0名	0名	5名
女性	7名	2名	1名	1名	1名	12名
合計	8名	5名	2名	1名	1名	17名
	20.5%	13.0%	5.0%	3.0%	0.0%	44.0%

⑤ 月別入院状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人員	3名	2名	3名	1名	3名	3名	3名	2名	2名	2名	2名	1名	27名
延べ 日数	61日	62日	68日	8日	14日	32日	22日	14日	38日	37日	56日	30日	386日

(前年度703日)

2. サービスの主な内容(給食について)

- ① 管理栄養士が中心となって、バランスの取れた献立を作成しました。
- ② 冷たい物は冷たく、温かい物は温かく、適温食を提供しました。
- ③ 食堂前に1週間の献立を提示し、関心を持ってもらえるようにしました。
- ④ より良い献立を作成するにあたり、アンケート調査を実施しました。
- ⑤ 持病を持った人に対しては、特別食を提供しました。
- ⑥ 楽しい食事となるよう、オムライスの日、カレーの日、お好み焼きの日を設定しました。
- ⑦ 一日当たりのエネルギー1,400キロカロリー、一日当たりの食費820円。
- ⑧ 非常事態に備え、災害非常食を3日分常備しました。

3. 入浴について

- ① 毎日塩素消毒を行いました。
- ② 介助浴を週2回午前中に、一般浴を週4回午後に行いました。

4. 排泄について

- ① 一部の介護者については、排尿・排便誘導し、オムツを利用する場合は、カーテンの使用等、本人に対するプライバシーに配慮しました。

5. 機能訓練について

- ① 養護老人ホームの利用者には「寝たきりにしない」を目標に努力してきました。

6. 健康管理について

- ① 嘱託医・看護師・介護職の連携により、健康管理に努力しました。
- ② 毎月、体重測定を実施し、健康面、栄養面の個別のチェックを行いました。
- ③ インフルエンザ対策として、入居者及び職員にワクチンの投与を1回行いました。
結果、インフルエンザ感染者は職員利用者とも0名でした。
- ④ 前年度末より新型コロナウイルスの発症が全国的に見られました。当初は未知のウイルスとのこともあり、対応するために研修に参加し、各職員に徹底周知を図るとともに、利用者にも極力不要不急の外出を控えてもらうなど、協力をいただきながら、結果年度末日現在において発症者はいませんでした。
- ⑤ 感染症のリスクを軽減するための必要な知識、対応・防止のため、感染症対策委員会を年4回開催しました。

7. 災害対策について

- ① 消防設備、非難器具の点検を行いました。
- ② 非常時災害訓練を年3回、土砂災害想定訓練を1回実施しました。

8. 家族・交流について

- ① 家族との連絡を密に取り合いました。
- ② 施設だよりを年2回発行し、情報の共有に努めました。
- ③ ボランティア介護体験実習生の受け入れの代わりに似島中学校生徒さんに職場体験実習として車椅子の体験学習を行い交流と啓発をはかりました。

9. レクリエーション活動について

- ① 「生きがい対策」として、新型コロナウイルス感染のリスク回避のため例年では踊りクラブなどが中止となり、満足な結果とはなりませんでしたが、昼の時間を使いほぼ毎日ラジオ体操の時間を設け身体を動かしてもらい気分転換を図ってもらうよう努めました。
春の花見は利用者も楽しみにしていたこともあり、1日の人数を絞り、数回に分けて桜を見学し堪能してもらいました。
- ② 食堂の窓に季節ごとに飾りをつくり、飾りつけを利用者と一緒に行ない季節感を感じてもらえるように心がけました。
- ③ 外出自粛などの制限がある中、気分転換を図るためにも、園芸クラブとして敷地内にある用地を利用し、野菜や花を植えて収穫や日々の鑑賞を楽しんでもらえるよう努めました。

10. 人材育成について

- ① 令和5年3月31日現在、看護師1名、ケアマネ1名、介護福祉士4名、実務者研修1名、ヘルパー2級(初任者研修含む)4名を配置しています。
- ② 施設内外での研修が新型コロナウイルスにより昨年に引き続き開催が限られましたが、リモート研修に参加し、内容を施設内研修にて報告し資質向上に努めました。

1 1. 施設利用者の虐待防止について

28年度に、入所者に対する虐待行為があったとの通報が広島市からあり、引き続き施設としても重要課題と位置づけています。

今後虐待0の施設にしていくために、虐待防止の施設内外の研修に参加し、また虐待防止委員会を年4回以上開催し、職員の介護技術だけでなく、意識の向上を目的に、具体的な事例検討を話し合い寮母会議等を利用し精査していきました。

1 2. 介護事故予防に向けた取り組みについて

利用者の介護時、見守り中の転倒等の事例検討や現在のリスクについて、介護事故予防委員会を年4回開催し、事故の予防に努めました。

1 3. 新型コロナウイルス感染症に対する取り組みについて

令和1年度の後半から新型コロナウイルスが発生し流行し、収縮することなく流行が続いております。当初は情報も少なく手探りの状態の中、職員は感染症対策のため毎日の検温と業務中に限らず業務外でも手指の消毒の徹底に取り組み、密を避けるための行動をとり、引き続き厳戒態勢の中、防止に取り組みました。

ご家族との面会もお断りすることが多く、玄関のガラス越しや1F居室の外部の窓越しで面会をするケースもありました。

また利用者にも蜜を避ける行動をお願いし、具体的には、入浴・食事の食堂に入る人数制限や、居室外でのマスクの着用の声掛け、毎日の食事もバイキング方式を通年取りやめ、職員が手指消毒後に配膳し、大勢の者が共有することを極力避けました。外出者は通院等の不要不急を除き、最低限の目的地以外への訪問や数カ所にわたる買い物等を控えてもらうように協力していただきました。また職員はワクチンを追加接種し対応しました。

職員はワクチンを全職員が追加接種しました。また自宅で家族からの感染により数名の感染
上記取り組みにもかかわらず、職員2名の感染と家族よりの濃厚接触者もあり、身近なもの
職員間で意識の共有し、予防の対策と発症対策を行いました。利用者に関しては、入所時に感染が発覚し、ゾーニング等対策を行い、他の利用者に感染することはありませんでした。

